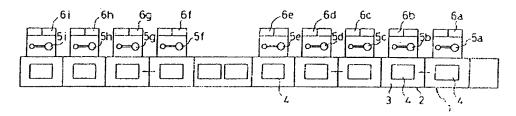
JP 60-7200

Pertinent potions of this reference

(1) Fig. 1



(2) Upper right column of Page 2, line 5-13 (References to Fig. 1)

Translation:

In Fig.1, 1 represents a components mounting line, and this comprises table 2 and conveyer 3 set on the table 2 and carries printed wiring boards 4... intermittently. A plurality of robot devices 5a-5i is disposed on the one side of this components mounting line 1 at the predetermined intervals, and components supply machines 6a-6i are disposed on the next sides of the robot devices 5a-5i respectively.

(19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭60-7200

⑤ Int. Cl.¹H 05 K 13/04B 23 P 21/00

識別記号

庁内整理番号 6616-5F 7173-3C ❸公開 昭和60年(1985) 1月14日

発明の数 1 審査請求 有

(全 3 頁)

ᡚプリント基板への部品装着方法

20特

顏 昭58-115403

22出

額 昭58(1983)6月27日

⑫発 明 者 鈴木勉

横浜市磯子区新杉田町8番地東京芝浦電気株式会社生産技術研究所内

⑩発 明 者 生田英一

横浜市磯子区新杉田町8番地東京芝浦電気株式会社生産技術研究所内

究所内

⑪出 願 人 株式会社東芝

川崎市幸区堀川町72番地

個代 理 人 弁理士 鈴江武彦

外2名

朔 糾

1. 発明の名称

ブリント基板への部品装着方法

2. 特許請求の範囲

- (2) ロボント装備の複数のチャックは、外形の大きい部品または高さの高い部品から順次小さい部品または低い部品の順にチャッキングすることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のブリント基板への部品装着方法。
- 3. 発明の詳細な説明

[発明の技術分野]

この発明はブリント基板へ各種の質子部品を ロボント装置によつて装着するブリント基板へ の 部品要発方法に関する。

[発明の技術的背景とその問題点]

ブリント基板へヒューズ、ブラク、IC、トランス、コンデンサなどの餌子部品を装着する作業を自動的に行なり部品自動装着装置が知られている。これはブリント基板を搬送するコンペナの中途部に複数台のロボット装備を配設し、これらロボント装備に設けたチャックによつている。

しかしながら、数十、数百種の 間品を 1 枚の ブリント 蕎板に装着することは、各部品は外形が して装着する必要があり、また各部品は外形が 大小異なるもの、高さが異なるものなど形状が 度々である。したがつて、チャックによつで 品をチャッキングし、ブリント 薔板に装着 こと 際に、既に装着されている 間品と干渉する こと があり、 部品を破損させたり、また幾正した 品のリードを変形させることがあり、自脚要習に支脚をきたす。このため、トランスや大容強コンデンサなどのように外形が大きく、また被雑な形状の邸品は自動装置が不可能となり、作業者の手作業によつて萎脂しているのが延備である。

[発明の目的]

p P

この発明は上記事情にもとづきなされたもので、その目的とするところは、外形が異なる多種の部品であつてもプリント基板への装滑が自動的に行なりことができ、また、 装着時に 配 に損傷を与えることがない ブリント 基板への 部品 医 粉方法を提供しよりとするものである。

(発明の概要)

この発明はブリント基板へ都品をロボットにより装着する際に外形の小さいまたは高さの低いとユーズ、ビユーズホルダなどの部品を装着したのち順次大きいまたは高いIC、トランス、コンデンサなどの部品の順に装着し、部品の装着時に既に装置されている部品との干渉による

- 3 -

4 に順次谷様部品を装着するようにをつている。 ここで、フリント基板 1 に対する 部品の装 層 順序の一例を述べると、つきのようになつている。

第1のロボツト装置 5 a →ヒユーズホルダ、 ヒューズ

第2のロボット装置 5 b → ブラグ

第3のロボット装置5 c → I C 、トランス等
第4のロボット装置5 d →各種磁気コンテン

第5のロボット装飾5 e →トランス、表面波 フイルタ

第6のロボット装置 5 f→電解コンデンサ、 ジャック

第 7 のロポット装儲 5 g →セメント抵抗器 第 8 のロポット装置 5 h → スイッチ、チュー

第 9 のロボツト 萎健 5 i → パワートランシス タ 等

すなわち、第 1 のロポット装置 5 a から 男 9

不具合を防止し、 的品を衝換して要別できると とを可能にしたものである。

〔発明の実施例〕

以下、この発明を凶面に示す一実施例にもと づいて説明する。 第1 図中1は郡品装滑ライン を示すもので、これは基台2とこの基台2上に 設けたコンペア3とから構成され、ブリント共 板 4…を間歇的に搬送するようになつている。 この 即品 英雅 ライン 1 の 一 側に は 複 数 台 の 第 1 ~ 第9のロボット装置 5 8 ~ 5 | が所定間隔を存 して配設されていて、各ロポット装置 58~51 の隣側には部品供給機構 6 a ~ 6 l が設置されて いる。上記第1~第9のロボット装置 5 a~5 i は昇降軸 7 とこの昇降軸 7 に設けた旋回アーム 8 およびこの旋回ア - ム 8 の先端に設けたマル チヘッド9とから構成されている。そして、こ のマルチヘッドタには2個ないし3個のチャッ ク10…が散けられ、同一もしくは異なる部品 をチャッキングできるようになつており、各口 ポット 乗置 5 a ~ 5 l 化よつて上記ブリント基板

- 4 -

- 5 -

なお、上配谷ロボット装置 5 m ~ 5 i における 装置 部品の種類は一実施例を示したものであり、 これに限定されるものではない。

〔発明の効果〕

以上説明したように、 この発明によれば、 外 形が大小異なる多様の部品であつても装置時に

- 7 -

部品相互および概品とチャックとが干渉することはなく、ブリント養板へ部品を密集して装着することができるという効果がある。また、自動装溜が可能となり、ブリント基板への部品装滑作業の能率を向上することができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

図面はこの発明の一実施例を示すもので、第 1 図は部品装券ラインの概略的平面図、第2図はロボント装置の側面図である。

出願人代理人 并理士 銌 江 貮 彦

-8-

